国際ロータリー2590地区

KAWASAKI ASAO ROTARY CLUB

# 川崎麻生ロータリークラブ

ロータリー：
変化をもたらす

会長　森 茂則　　幹事　森 啓伊

## 第 1240 回　例会記録　平成 30 年 6 月 29 日(金)　S.A.A 委員長　蓬田 忠

**【点　鐘】**　森 茂則 会長

**【例会場】**　ホテルモリノ

**【S.A.A.】**　蓬田 忠 委員長

**【ソング】**　ロータリーソング『手に手つないで』

**【ゲスト･ビジター紹介】**　森 茂則 会長

◇川崎高津RC 幹事　相馬　元様

【昨日無事最終例会が終わりました。森会長、森幹事にお越しいただきました。1年間有難うございました。】

**【会長・幹事に記念品贈呈】**

大野勉 次年度会長より会長幹事に記念品が渡されました。

〈左より〉 森 啓伊 幹事、森 茂則 会長、大野 勉 次年度会長

**【会長報告】**　森　茂則 会長

1. 7月のロータリーレート　1ドル＝110円
2. ガバナー事務所より

○2018-19 年度 クラブ基盤管理委員長会議 PART I 開催の案内　7月 19 日(木) 15:00～18:00 横浜ベイシェラトン5F　※返信期日:7月12日(木)

○地区研修･協議会報告書発送のお知らせがメールで届く。

3. 第 36 回あさお区民まつり実行委員会の開催の案内

○第1回実行委員会　7月10日(火) 19:00～ 麻生区役所

○第2回実行委員会　9月20日(火) 19:00～ 同上

4. しんゆり芸術祭実行委員会より資料が届いています。

①6月11日の実行委員会報告書 ②アンケート集計結果 ③アートボランティア活動報告 ④綜合プログラム

**【幹事報告】**　森　啓伊 幹事

◆活動計画書着 ○川崎高津南 RC

◆例会変更

○川崎鷺沼RC ■7/4(水)夜間例会 18:00 点鐘 ■7/18(水)移動例会 二子玉川エクセルホテル東急 17:10 点鐘

○川崎南RC ■7/31(火)夜間移動例会 18:30 点鐘 横浜中華街:萬珍楼 ■8/14(火)、8/28(火)休会

○川崎大師RC 7/25(水)暑気払い移動例会 「食道園」

**【出席委員会】**　宇津木茂夫 委員

| 例会数 | 会員 | 出席 | 欠席 | 修正 | 出席率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1240 回 | 32 | 29 | 3 | | 90.6% |
| 1239 回 | 32 | 26 | 6 | 3 | 90.6% |
| 1238 回 | 32 | 25 | 7 | 1 | 81.3% |

**第１２４１回例会　７月　６日（金）理事役員会①　就任挨拶①　ホテルモリノ**
**第１２４２回例会　７月１３日（金）就任挨拶②　ホテルモリノ**
**第１２４３回例会　７月２０日（金）セミナー報告・クラブ戦略委員長会議報告　ホテルモリノ**

【ニコニコ委員会】　碓井美枝子 委員長

| | 第 1240 回(件数) | 合 計 |
|---|---|---|
| ニコニコ | 29 件 | ￥33,000 |

●お客様

碓井美枝子 出席委員長

◇川崎高津RC　相馬　元様
【森茂則会長、森啓伊幹事、そして麻生RCの皆様、1年間有り難うございました。】

●会員

◇森茂則会長、◇森啓伊幹事【一年間有難うございました。】
◇宇津木茂夫会員、◇梅澤馨会員、◇老沼純会員
◇大野勉会員、◇梶俊夫会員、◇佐藤忠博会員
◇鈴木昭弘会員、◇鈴木憲治会員、◇鈴木眞一会員
◇鈴木豊成会員、◇蓬田忠会員
【会長・幹事1年間お疲れさまでした。】
◇志村幸男会員【昨日、高津RCの最終例会に行って参りました。ジュディーオングの講演を聞いてきました。】
◇長瀬敏之会員【森会長・森幹事1年間大変ご苦労様でした。】
◇中山隆弘会員、◇山下俊也会員
【森会長・森幹事1年間どうも有難うございました。】
◇青戸慶太会員　◇臼井勉会員　◇碓井美枝子会員
◇親松明会員　◇川崎航会員　◇木村基会員
◇木村良三会員　◇黒木啓太郎会員　◇佐々木範行会員
◇杉山遼会員　◇門間亜砂子会員

以上、ご協力ありがとうございました。

【プログラム委員会】　鈴木 眞一 次年度委員長

「7月は6日第1例会で理事役員会、会長・幹事・クラブ奉仕委員長の就任挨拶、13 日第2例会で職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕委員長の就任挨拶が予定されています。7月 9 日の拡大増強委員会の報告を 20 日の第3例会で予定しています。また、次年度は健康体操を多く取り入れていきたいと思います。」

【次年度幹事より】　青戸 慶太 次年度幹事

「本日、活動計画書を皆さんへお配りできましたが、もし訂正があればご指摘ください。次年度は、この中のプログラムに沿って活動していきたいと思っています。また、なるべく例会に出席していただいて、会を盛り上げていきたいと思います。よろしくお願いいたします。」

【S.A.A.より挨拶】　蓬田 忠 委員長

今年度のハプニングをお伝えしておきます。実は移動用の鐘が 2 ヶ月くらいのあいだ行方不明になって、どうしたものかと思っておりましたが、やっと仕事場の一角から見つかりましてホッといたしました。関係の方々にはご迷惑をおかけしました。一年間 SAA 委員会の面々で務めさせていただき、皆さんのご協力を有難うございました。

【TOPIC !!】　木村 良三 会員

先日、私がコーチをしている「王禅寺少年野球チーム」の 26 名の子供達と大人数名で野球観戦に行き、夕方の混んでいる地下鉄に乗りました。関内で降りる時に、この電車の網棚に志村会員(宮司) が書いてくださった『ありがとう』の文字が刺繍されたタオルを忘れてしまったのですが、帰りに奇跡的に同じ電車に乗ることができ、網棚に忘れ物を見つけ、無事戻ってきました。

【四つのテスト】　門間 亜砂子会員
【点　　鐘】　森　茂則 会長
「一年間ありがとうございました。」
【会報委員会】文責：中山 隆弘 委員

〈今年度会報委員会メンバー〉
木村良三委員長、中山隆弘委員、川崎航委員、鈴木眞一委員、山下俊也委員、雪井洋子委員
「一年間ご購読ありがとうございました。」

## 【HIKARU Report】6月 月例報告

Guten Tag！こんにちは！ドイツ派遣の竹尾光です。
6月も終わりとなり、派遣生活の終わりも近づいてきました。もちろんドイツと別れを告げることは悲しいですが、その反面1年間会えなかった友人や家族に会うことや、なかなか食べることの出来なかった日本食、話すことに苦労することの無い日本語での生活を楽しみにしています。また、私と同じように1年間外国で生活し、私の知らない色々な知識を得た同じ派遣生達の経験を聞くことも楽しみの1つです。
ドイツに来て1年が経とうとしているということに、早いなと思うことも多いです。ヨーロッパツアーもベルリンツアーも昨日のように感じますし、去年、ドイツに着いた時の事は今も鮮明に覚えています。しかし、この1年を長いと思ったこともたくさんあります。もう終わればいいのに、早く日本に帰りたいと何度も思いました。外国の人達と話すことがこれほど難しいことなのだと感

じたのはドイツに着いてすぐでした。そしてそれは今も変わりません。日本人と話す方が今も楽ですし、外国人と話すのは言語の問題も含め、難しいことだと今も尚感じています。ドイツに来てからずっとそう感じながら生活をしていたわけですから、何度も嫌だなと思うことがありました。辛いなと。

派遣前のスピーチでも言いましたが、私はとても人見知りです。日本人と話すのさえ、躊躇があります。外国の人と拙い英語、ドイツ語で喋ることは今も嫌です、苦手です。

でも少しずつ理解することができ、話すことができ、その積み重ねを経て、この1年を過ごしてきました。最初のホストファミリーにはドイツに来たときはもっと人見知りだった、今は笑顔が増えて、そんなに人見知りじゃなくなったと言われました。

こういった評価をして頂けることは非常に嬉しかったですし、辛いことにも耐えて1年間過ごしてきてよかったと感じました。

もちろん辛い事ばかりではありません。たくさんの楽しい思い出や興味深い体験をしてきました。6月上旬に他の派遣生全員と会う最後のミーティングがあり、3日間のミーティングの中で、We are oneや派遣生でつくった歌をロータリアンの人達の前で発表したり、BBQをしたり、1年間の写真を見たりしました。ヨーロッパツアーやベルリンツアーなど、たくさんの時をともにした派遣生との1年間の集大成は、非常に心に残るものでした。また最後にロータリーの方から1年間の証書をもらった時はまだ1ヶ月残ってはいるものの、とても嬉しく思いました。

今月は、3番目のホストブラザーとともにシャーロック・ホームズの英語の劇に行きました。全てを理解することは出来ませんでしたが、ドイツに来る前よりもはるかに英語を聞き取ることができ、非常に楽しくみることができました。また、今日本でも注目されているであろうワールドカップもホストファミリーと一緒に見ています。もちろんドイツは前回のチャンピオンということもあり、日本よりも熱気がありました。親戚みんなで集まって、シュート1本1本に一喜一憂し、ドイツが勝つとその日は街中にクラクションが鳴り響きました。結果は残念でしたが、その結果に対して、残念がることはあっても大きな批判をすることはないドイツという国の国民性はとてもいいものであると感じました。今はみんなが日本の応援をしてくれています。1年間通った学校も今月の中旬に終わりました。1年間通いましたが、最後の最後まで、しっかりとした理解を出来ていた自信はありません。そのくらいドイツの勉強のレベルは高いものでした。

日本を出発する前に高校の先生から日本人は英語はあまり出来ないけど、数学などは他の国より進んでいるから！と言われましたが、全くそんなことはなく、習ったことの無いことばかりでした。私にとっては厳しい学校生活でしたが、最後のホームルームでは、私と、同じクラスのブラジルからの留学生のために、小さなパーティーを開いてもらいとても楽しく過ごせました。

私の今の気持ちを例えるのであれば卒業前の学校にいるような感じです。たくさんのことが最後となり、終わっていく、いろいろなものとの別れがすぐ側に近づいていることにたいする、悲しさや寂しさ。そして、またこれからローテックスとしてもそうですが、色々なことで新たな自分となっていくことへの期待。それを今自分の心の中に持っています。私の人生は「見切り発車」という言葉が当てはまります。何かをしたい、何かをしてみたらどうだろう、と少し考えたら後先考えずに行動してしまいます。「見切り発車」という言葉はなかなか良い意味では使われない言葉だと思います。ただ私は、「見切り発車」をいい事だと思っています。何かを行動する時に後先のことを考えて、行動しないよりも、少しでもやりたいと思ったらすぐ行動してきたことでたくさんの経験をしてきました。もちろん周りに迷惑や心配もかけてきたと思います。ロータリーの皆さんにも支えられなければ、このような経験は出来なかったと思います。しかし、留学をしてみたいなと思ってもそれを行動に移さなければ、経験は得られません。私は行動に移したことを誇りに思います。そして、周りの方々にかけた迷惑や心配、自分自身が感じたこの1年間の辛さによるマイナスよりも、これまでの経験やこの経験を活かす事のできるこれからの人生におけるプラスのほうが圧倒的に多いと信じています。もちろん、後先も考えなければいけない時もあると思います。それでもそれが自分の力不足だからとか、面倒くさいからといった理由なのであれば、それは決して出来ない理由ではないということを知りました。これからもやりたいと思ったことは、行動に移す、「見切り発車」な人生を歩みたいと思います。この貴重な1年間にとても感謝しています。